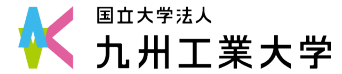


令和6年3月27日



近年、世界的にダイバーシティ&インクルージョンの動きへの対応が必要とされている中、日本国内の大学における理工系分野の女子学生の割合は、世界的に見て低い状況です。

予測困難な時代において、多様な視点や優れた発想を取り入れた新たな科学技術のイノベーションを創出できる社会へ貢献するためには、女子学生の割合を高め、キャンパスの多様性を向上させるとともに、より多くの女性技術者を輩出することが重要であると本学は考えています。

そこで、本学では、以下に示す基本方針およびアクション・プランによる様々な取り組みを通じて、主に女子生徒の理工系分野への興味・関心を高めるとともに、進路選択におけるハードルを取り除くことで、女子生徒が適切に理工系進学を選択できるよう活動してまいります。

## ■ 基本方針

1. 理工系分野に興味・関心を持つ人材を増やすため、科学教育や進路意識の高揚を図る事業を積極的に実施します。
2. 理工系進学促進に資するため、キャンパスライフやロールモデル等の情報提供および理工系分野に関する高大接続事業を推進します。
3. 多様性に配慮したキャンパスの学修環境づくりを推進します。

## ■ アクション・プラン

### 1 科学教育等の事業

- 1.1 小中学校・高等学校を対象とした、理工系分野の講義・実習等を実施する出前講義、STEAM教育の実験体験学習企画（科学教室等）を通じて、理工系分野への興味・関心や進路意識を高めます。
- 1.2 民間企業や自治体と連携し、女子生徒を対象とした理系進路選択支援の企画を通じて、学校での「学び」と将来の「キャリア」の関わりを感じてもらえる機会を提供します。

### 2 キャンパスライフ等の情報提供および高大接続事業

- 2.1 女子生徒や保護者を対象とした、オープンキャンパスのカフェ等のイベント、および、受験相談会の女子生徒対象ブースを企画し、本学の女子学生のキャンパスライフやロールモデルに関する情報を提供することで、女子生徒の理工系分野への進路選択を後押しします。
- 2.2 学生募集に関するイベントの参加者に対して、女子生徒の理工系分野への進路選択に関するアンケートを適宜実施して情報収集に努め、進路選択に有用な情報提供を通じて、女子生徒の理工系分野への進学に関する不安の解消に努めます。
- 2.3 中学校・高等学校教員を対象とした研修会の実施および探究活動の支援を通じて、学校教員との交流を深め、女子生徒にとって有用な理工系分野に関する情報を学校教員にも提供することで、理工系分野への進路選択につなげます。

- 2.4 中学・高等学校との理工系分野の教育に関する連携協定に基づく活動を通じて、中学・高等学校の教育や人材育成に協力するとともに、女子生徒に対する理工系分野への進学意識の向上に貢献します。

### 3 多様性に配慮したキャンパスの学修環境づくり

- 3.1 ポジティブ・アクションとして、女性限定公募等の実施により女性教員比率を引き上げ、大学構成員も含めたキャンパスの多様性を推進します。
- 3.2 地元の警察署と連携するなど、女子学生にも安全で安心な環境づくりを推進します。
- 3.3 在学生の保護者等を対象とした説明会の実施により、女子学生に有用なキャリア教育や就職支援の取り組みに関する情報を保護者等にも提供します。

#### ■ その他参考情報

学部入学者選抜の「女子枠」導入を継続的に学内で検討した結果、一般選抜に「女子枠」による選抜方法を適切に導入する方法には多くの課題があり、当面の間、導入は見送ることとしました。一方で、現在の本学における総合型選抜および学校推薦型選抜合格者の女子の割合は約30%と比較的高い状況にあることから、女子生徒の受験先となり得ていると考えています。